

はじめに

長野広域連合では、令和3年2月から一般廃棄物最終処分場（エコパーク須坂）の供用を開始し、令和17年度まで埋立てを行える見込みです。

一般廃棄物処理施設は、住民の生活に必要な施設であり、その整備に当たっては候補地の選定や用地の取得に長い期間を要するため、早い時期から次期一般廃棄物最終処分場について検討する必要があります。

このような背景から、令和3年5月に関係4市町村（長野市、信濃町、小川村及び飯綱町）から6箇所の候補地が報告されました。

これらの候補地の中から適地を選定するため、令和4年3月に「長野広域連合ごみ処理施設整備計画等専門委員会」が設置され、これまで5回の審議を重ねてきました。この間、公正かつ慎重な審議に努め、6箇所の候補地について、自然条件や環境条件、経済条件などの評価項目により評価を行い、相対的に評価点が高く環境負荷が低いと判断される2箇所の候補地を選定しました。この報告書は、専門委員会における候補地の選定過程をとりまとめたものです。

一般廃棄物最終処分場は、将来にわたり衛生的な都市環境や生活環境を確保・維持するためにとっても重要な施設です。そのため、長野広域連合におかれましては、必要性や安全性、候補地の選定経過などの説明を丁寧に行うことで、地域の方々の理解を得ながら施設の整備に向けた取組みを進めていただきたいと思います。

長野広域連合ごみ処理施設整備計画等専門委員会
委員長 梅崎 健夫